
付録

学生センターではみなさんの学生生活をサポートしています!

法政大学学生センターでは、他大学には見られない様々なキャンパスライフを充実させる取り組みを行っています!

● 課外教養プログラム

あなたの知的好奇心を満たす場がすぐそばにあります!!

Point 1

正課授業では扱えない領域をカバーしています!

昨年度は「明日の通学が楽しくなる!?市ヶ谷キャンパス周辺地理・歴史ツアー」という企画を実施しました。本企画は市ヶ谷キャンパス周辺の地形や歴史を実際に散策しながら学ぶ企画で、講師には東京スリパチ学生会会長皆川典久氏をお招きし実施しました。皆川氏は「プラタモリ」といったテレビ番組にも出演経験があり、地形やその土地にまつわる歴史のスペシャリストで、当日は市ヶ谷～神楽坂周辺を散策し、地形の特徴や歴史的建造物を見ながらその土地の地理・歴史について教えて頂きました。参加者は普段何気なく通る道にも様々な特徴や歴史があるという事を学び、興味津々な表情で皆川氏の話に聞き入る姿が印象的でした。コロナ禍以降、オンラインでの企画が続いていましたが、今回の企画は対面で、街歩きをしながら学生同士が気軽に話せる環境づくりを心掛けた事で、満足度の高い企画にすることが出来ました。

Point 3

本気で学びたい!と思う学生が、自主的に受講します。

その名の通り、「課外教養プログラム」は正課外ですので、受講しても単位にはなりません。だからこそ、「学びたい!」という強い意欲を持った学生が自主的に参加します。他学部の学生と一緒に学ぶことで、新たな発見もあるでしょう!

Point 2

参加しやすい!友達が出来やすい。
昨年度はコロナ禍にも関わらず
700名が参加しました。

企画のほとんどは5限以降に実施されていますので、授業が終わった後に気軽に参加でき、スキマ時間に楽しく教養を身に付ける事が出来ます。また、全てのプログラムでグループワーク等の実践的な内容を行っている為、他学部の学生と繋がる機会も多くなります。企画に参加し、教養を身に付けるとともに、新たな人間関係の構築にもトライしてみませんか?

Point 4

「参加者」から「運営者」に!

「課外教養プログラム」に参加して、「今度は自分がプログラムをつくってみたい!」と思ってくれたあなたには、つくり手(=KYOPROスタッフ)になる道があります!学年は関係ありません。いつでも、スタッフになることができます!

見え方が360°変わる!?
法大生がイチから学ぶ自治体のシゴト



明日の通学が楽しくなる!?
市ヶ谷キャンパス周辺地理・歴史ツアー



「課外教養プログラム」や「私が教えます!」に参加するには...

掲示板やホームページをチェック!! 参加したいプログラムがあれば、学生センターで応募しよう! (一部プログラムはWeb応募も実施中)



KYOPROスタッフによる
Twitterもやっています!



◎市ヶ谷



◎多摩



◎小金井

■お申し込み・お問い合わせ

市ヶ谷学生生活課(外濠校舎1階)

☎ 03-3264-9475

多摩学生生活課(EGG DOME2階)

☎ 042-783-2152

小金井学生生活課(管理棟2階)

☎ 042-387-6011



■最新情報

URL:<https://www.hosei.ac.jp/gakuseishien/>

コロナ対策をしながら夏を快適に

熱中症に注意しながら、夏を元気に過ごしましょう!

- ✓ 屋外で人との距離が十分(2メートル以上)に保てる場合には、状況に合わせてマスクをはずしましょう。
- ✓ 運動するときには、10～20分おきにスポーツドリンクなどを飲みましょう。

● 熱中症になりやすいのは...

・暑くなり始めの日・急に暑くなった日
・熱帯夜の翌日・梅雨の晴れ間、梅雨明け後
・曇りや雨でも湿度が高い日

・アルコールを飲んだ翌日
・ダイエット中
・寝不足・下痢など体調不良

・マスク着用時の激しい運動
・慣れない運動
・長時間の屋外

熱中症

● 熱中症の症状は



めまい・立ちくらみ・
腰痛など



手足の筋肉がびくびくする・
足がつる・手足のしびれ



だるさ・吐き気・
頭痛・脱力感など



汗のかき方がおかしい
(大量の汗、または全く汗をかかない)



意識障害

● 症状があったら

① マスクを着用している場合には、マスクをはずしましょう

② 安全で涼しい場所へ移動しましょう エアコンのきいた室内や、風通しの良い日陰へ移動しましょう。

③ 体を冷やしましょう 衣服をゆるめて、風通しを良くし、体の熱を逃しましょう。首、脇の下、足の付け根などを、冷たい飲料の入ったペットボトルやアイスノン、保冷剤などで冷やしましょう。

④ 水分補給・塩分補給をしましょう スポーツドリンクや、水と塩分入りタブレット、ゼリー飲料などで補給しましょう。

意識がおかしい、会話が成り立たない、自分で水分摂取できないといった場合には、救急車を呼びましょう。

参考: 環境省「熱中症環境保健マニュアル2022」

厚生労働省「熱中症ガイドライン」

日本救急医学会・日本臨床救急医学会・日本感染症学会・日本呼吸器学会「新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた熱中症予防に関する提言」

課外教養プログラムに参加しよう！

■課外教養プログラムとは？

法大生の多様なニーズに応えるため、学生センターでは1993年から課外教養プログラムを展開しています。テーマも「スキルアップ」「古典芸能鑑賞」「スポーツ観戦」などと幅広く、いつもの授業とは一味違った体験ができます。参加者からは「授業を理解する上で役に立った」「受講して興味を持ったので自分でも深めていきたい」といった感想が寄せられています。

さらに2007年からはプログラムを教職員と一緒に企画し、運営するKYOPRO(課外教養プログラムプロジェクト)スタッフも誕生しました。学生の視点、活力が加わったことで、法大生のニーズにより順応したプログラムが実施されています。2021年度も新型コロナウイルスの影響がありましたが、学生スタッフの試行錯誤でオンラインでの企画も実施し、31のプログラムに、約700名が参加しました。

2022年度 春学期 実施報告！



はじめての点字 ～知ってつながる社会の輪～



6月17日、法政大学課外教養プログラム「初めての点字～知ってつながる社会の輪～」を実施いたしました。

↓ プログラムの様子

本企画は、点字を通して視覚障がいに関する教養を身につけることを目的とした企画です。点字についての知識や視覚障がい者の方の生活や体験を学ぶ事で、視覚障がいに関する理解を深めて多様な社会について学生が考えるきっかけになることを期待して実施いたしました。今回の企画は、ボランティア分野に関係するため、ボランティアセンターの学生スタッフであるVSP(ボランティア支援プロジェクト)と協同で企画・運営を行いました。講師には日本視覚障害者団体連合組織部長の三宅隆氏をお迎えしました。三宅氏は22年間、盲学校の点字教科書や自治体広報などを製作する点字出版所に勤務したのち、全国の視覚障害者協会の連合組織である日本視覚障害者団体連合に勤務されています。



本企画は、対面にて実施しました。企画のはじめにグループワークとして、大学内の点字を探索し、その点字の意味やその場所に点字があること背景をディスカッションしました。点字探索では、大学校舎内をグループごとに分担し探索を行いました。スタッフが想定していたよりも多くの点字を参加学生が発見するほど積極的な姿勢が見られました。またディスカッションにおいては、初対面ながらも各グループの議論が途絶えないほど熱心に取り組む様子が見られました。グループワークを行った後に講師の登壇パートとして、点字の読み方や点字の役割、視覚障がいをお持ちの三宅氏の日常生活についてのお話を伺いました。三宅氏が点字シートや点字がついている商品を提供していただき、学生が実際に見たり触れたりしながらお話を聞くことにより、点字についての理解がより深まりました。講義の中では学生が点字シートを参考にして、実際に点字のついている商品の点字に触れながら点字の読解を行う様子が見られました。

三宅氏の講演が終了した後は、質疑応答の時間と感想発表の時間を設け、参加学生が積極的に質問と感想発表を行っていました。電車内や駅のホームで視覚障がい者にあつたときどうすればいいのかという質問から、視覚障がい者を他人事ではなく、自分事として捉えている様子がうかがえました。また、感想の時間では、今回の企画を通して視覚障がい者の苦勞がより分かったという声が聞かれました。

新型コロナの感染が落ち着き、実際に大学内で点字を探索し点字に触れながら理解を深めることができ、有意義な時間だったのではないかと思います。今回の企画で、視覚障がい者他人ごとではなく自分事として捉え、点字を通して多様な社会について考えるきっかけになってくれたならば幸いです。

【報告・KYOPROスタッフ】吉村 秀斗 法学部政治学科 4年

コミュカアップ！春から始める雑談講座

6月1日(水)に法政大学・課外教養プログラム「コミュカアップ！春から始める雑談力講座」を実施致しました。本プログラムでは大学、小中学校、企業、行政機関などで、コミュニケーションや話し方に関する講演を多数行い、人々の「言葉の力」を強くする活動を展開している、スピーチライター・コラムニストのひきたよしあき氏を講師にお招きしました。

コミュニケーションにおける工夫や雑談のコツに関する講義を受けた後に、実際に4～5人のグループでテーマを定めずディスカッションを行うという実践の場を多く設け、コミュニケーションへの苦手意識を無くす講座づくりを目指しました。

今回の企画を受講する事で参加学生が上手に会話を出来るようになる事を目的としました。まず、前半の講義では挨拶の重要性や簡単に実践できる雑談力トレーニング法を紹介して頂き、その後、話が途切れた際の対処法や相手の話を引き出す工夫について、お話しして頂きました。講義内容はとても興味深く、参加学生はメモを取ったり、質問する等熱心を受講する姿が印象的でした。後半は実践的なグループディスカッションを行いました。前半の講義でインプットしたコミュニケーションに関する知識を活かして、話し合いを行った事で講義中は少し緊張しているように見受けられた学生たちが楽しそうに会話をする様子が印象的でした。

また、ひきた氏から「雑談の合間に反応の声が上がっている点が素晴らしい」とコメントを頂き、雑談が楽しいと改めて感じる機会を作ることができてよかったです。

このプログラムを通じて、学生には様々なコミュニケーションの工夫やスキルを学んで頂きました。今後、授業や就職活動において「自分は会話が苦手だ」という苦手意識を持たず、意識を変えるだけで会話がスムーズ出来るようになる事を実感して頂ければ幸いです。

【報告・KYOPROスタッフ】川島 祐奈 国際文化学部国際文化学科 3年

↓ プログラムの様子



世界遺産の価値を未来へ！～知られざる世界遺産のお話～

6月6日、法政大学課外教養プログラム「世界遺産の価値を未来へ！～知られざる世界遺産のお話～」を実施しました。

本企画は、学生が世界遺産の価値やその文化的な背景、世界遺産を取り巻く社会問題などについて学ぶ事を目的としています。講師には世界遺産アカデミー認定講師であり、関東の私立大学等で非常勤講師をされている鈴木かの子氏をお招きしました。鈴木氏は世界遺産検定マイスター資格をお持ちで、4年間の世界遺産を巡る旅をご夫婦でされていた経験があります。

本企画は対面形式で実施し、鈴木氏の講義を聴いた後、参加学生同士のグループディスカッションや参加学生と鈴木氏の間で質疑応答を行うという内容でした。

講義では、世界遺産の基礎知識に関するクイズを交えたり、実際訪れた時の写真や動画を紹介したりしながらお話をさせていただき、危機遺産についても詳しく取り上げていただきました。内容はどれも興味深く、参加学生はクイズを楽しみながら世界遺産への理解を深めることができました。

また、グループディスカッションでは講義内容を踏まえ、「リヴァーブルの都市開発についてどう考えるか?」をテーマに話し合い、全体で内容を共有した後、

↓ プログラムの様子



鈴木氏からもフィードバックをいただきました。各グループともに講義で学んだことを活かしつつ、最新のニュースも参考にしながら、一つの視点だけではなく多角的に問題を捉えて意見を出し合うことができ、とても実りのある時間であったと思います。

質疑応答の時間では、参加学生から世界遺産検定の勉強方法や鈴木氏の旅行の話まで幅広い質問があり、双方向のやり取りが積極的に行われていたのが良かったと思います。

本企画をきっかけに、人類共通の財産とされる世界遺産の価値を理解し、危機遺産など世界遺産が抱える問題への関心を高めてもらうことで、その価値を未来へ伝えていく手助けとなれたのなら幸いです。

【報告・KYOPROスタッフ】津嶋 千早 法学部政治学科 2年



秋学期 実施予定プログラム予告！

詳細は、学生センター前での掲示をはじめ学内掲示板や Hoppii のお知らせを通じてご案内します。ぜひ一歩を踏み出して、興味のあるプログラムに参加してみましょう！皆さんの参加をお待ちしています。



ゼロから学ぶLGBTQ

～より良い社会を私たちがつくるために～

- ・日時：11月下旬
- ・定員：25名(対面実施予定)

近年、「LGBTQ」や「性的マイノリティ」という言葉がテレビや新聞等で取り上げられる機会が増えました。一方で、具体的な配慮の仕方を学んだり、課題意識を持ったりする機会は乏しく、職場や学校において、意図しない形で偏見や差別が発生してしまうこともあるのではないのでしょうか。

本企画では、LGBTQに対する正しい知識を持つために、その歴史や現代の取り組みについて学ぶ機会を提供します。そして、多様な性について理解し、一人ひとりが自分らしさを大切にしながら、社会に出た後もお互いを自然に受け入れられるような環境を作っていくことを期待します。



東京ジャーミイに行く！

～日本におけるイスラム・モスク～

- ・日時：2022年11月中旬 土曜日(予定)
- ・場所：講義：市ヶ谷キャンパス
見学：東京ジャーミイ・トルコ文化センター
- ・定員：25名

私たちの身近なところでイスラム文化に触れたり、イスラム圏の人々と交流したりする機会が増えています。しかし、私たちのムスリムに対する理解は十分に及んでいるとは言えず、在日ムスリムが生活上で困難を感じることもあります。例えば、ハラール食品の材料が少ないことや、礼拝場所の確保が難しいことが挙げられます。

本企画ではハラール食品や礼拝などのイスラムの文化や歴史を学び、異文化に触れる機会を提供します。また、異なる文化を持つ人々が、共に理解し合いながら生活していくためにはどうしたらいいのか、理解を深めます。この経験を、今後の学生生活、社会人生活に活かしてみてください。



書道入門教室

～明日から字を書くのがちょっとだけ楽しくなる！～

- ・日時：11月中旬
- ・定員：12名(対面実施予定)

多くの人が一度は経験したことがある書道について、改めて向き合ってみませんか。

書体の種類(楷書、行書、隷書など)、書道の名品、バランスの取り方などを学びます。また、ひとつの線や点に真剣に向き合う面白さ、書道の世界の奥深さを体験できる、入門編です。

プログラム内で「リレー書道」(参加者内で数人のグループを組み、ひとり一画ずつ書いて、お題を完成させる)を行う予定です。書道を通じての交流も楽しみです。最後に、色紙に作品を書いてもらいます。当日の学びを実践しながら、白と黒の世界を楽しみましょう。

■お申し込み、お問い合わせは各キャンパスの学生生活課まで 市ヶ谷：03-3264-9475 外濠校舎1F 多摩：042-783-2152 EGG DOME 2F 小金井：047-387-6011 管理棟 2F

数学おもしろ問題に挑戦！の解説



Q.1は、法政大学の学生(ここでは3万人としています)が「ハト」です。「ハトの巣」を順に考えていきましょう。まず、誕生日なので、「ハトの巣」が365個あることになり(うるう年も含めると366個ですね)。さらに、その1つの巣の中に、都道府県(47)の巣があります。計算すると、 $365(366) \times 47 = 17155(17202)$ の巣があることになり、この巣に入ろうとするのは、巣の数よりも多い30000人ですから、必ず2人以上が同じ巣に入ることになります。これにより、同じ誕生日で、同じ出身都道府県の人2名以上いると証明できるのです。

Q.1、2ともに、「ハトの巣原理」を使って問題を解くことができます。「ハトの巣原理」とは何でしょうか。4羽のハトが3つの巣に入ろうとすると、必ず2羽以上ハトが入る巣が存在しますね。これを「ハトの巣原理」と言います。何を「ハト」として、何を「ハトの巣」とするのか、問題を解くカギになります。では、解説しましょう。



Q.2も、順番に考えていきましょう。学食が2つ、メニューが9つなので、 $2 \times 9 = 18$ の巣があることになり、さらに、3時間目に履修できる授業は9つなので、 $2 \times 9 \times 9 = 162$ の巣があることになり、この巣に入るのは、教室にいる180人で、巣の数よりも多いので、同じ学食で同じ昼食を食べ、3時間目に同じ授業を受ける学生が2名以上いると証明できるのです。

日常の学生生活の中にも、数学のおもしろさを見つけれられますね。

ボランティアをしよう! ~自分のために、そして誰かのために~



市ヶ谷キャンパスには、「学部生のボランティア促進」を目的とするボランティアセンター（通称ボラセン）があります。場所は外濠校舎1階（学生センター内）。ボランティアに興味がある人は、ぜひボラセンまで。ボランティア活動を通して、新たな体験・新たな出会い・新たな学生生活を手に入れましょう!

大学生になって「新しいことにチャレンジしたい!」「自分の世界を広げてみたい!」と思いませんか? ボランティアセンターでは、環境/福祉/被災地支援/まちづくり/国際/教育など、様々なジャンルのボランティア情報があり、学生スタッフも気軽に相談ののってくれます。さあ、ボランティアをしよう!

■学内でのボランティア啓発講座

学内でボランティアをするきっかけになる啓発講座を企画実施しています。



子ども×学習支援講座



献血啓発企画



手話講座

■学外でのボランティア活動

学外で普段体験できないボランティアを企画実施しています。



富士山自然保護ボランティア



外来生物駆除ボランティア

■地域貢献ボランティア

市ヶ谷キャンパスから徒歩10分圏内で活動するボランティアです。あまり時間がない人、手軽に活動したい人にも向いています。



東京メトロ飯田橋駅ボランティア



キャンパス周辺清掃ボランティア

■国際交流ボランティア

日本語を学ぶ海外の学生へのボランティアです。



ペイラー大学日本語ボランティア

■被災地支援・防災関連ボランティア

被災地ボランティアツアー、学生スタッフ企画のスタディツアー、キャンパス内に宿泊する防災キャンプも実施しています。



福島被災地スタディツアー



東北被災地ボランティアツアー



もしもに備える~防災キャンプ



VSP 学生スタッフ募集

ボランティアセンターには、学生スタッフ VSP（ボランティア支援プロジェクト）がいます。教職員と協働し、学部生のために、学内および地域貢献ボランティアなどの企画・実施等を行っています。初心者でも様々なジャンルのボランティア活動ができます。

チーちゃん オーレくん



(チーム・オレンジ キャラクター)

チーム・オレンジ 学生スタッフ募集

チーム・オレンジは、東日本大震災の被災地・被災者のために「何かしたい」という学生が集まってできた組織です。被災地支援及び防災全般について、学部生に活動の輪を広げるために教職員と協働し、活動しています。



防災クイズ&ゲームDay in そなエリア東京

ボランティア活動についてのお問い合わせは

法政大学市ヶ谷ボランティアセンター
(外濠校舎 1階学生センター内)
☎03-3264-9516

✉ ichigayavc-apply@ml.hosei.ac.jp

法政 ボラセン 検索

<http://www.hosei.ac.jp/volunteer/index.html>

課外教養プログラムに参加しよう!

学生センターでは、法大生の多様なニーズに応えるため、課外教養プログラムを実施しています。

法政大学の HP や学内の掲示板などで随時告知しています。
お申し込みは各キャンパス学生生活課へ!

2022年度 実施プログラム



学生スタッフ発案企画
コミュカアップ!
春から始める雑談講座



学生スタッフ発案企画
はじめての点字
~知ってつながる社会の輪~



学生スタッフ発案企画
東京ジャーミイに行く!
~日本におけるイスラム・モスク~



職員発案企画
書道入門教室
~あしたから字を書くのがちょっとだけ楽しくなる!~



職員発案企画
歌舞伎鑑賞教室

学生スタッフ 募集!

- テーマは「スキルアップ」「古典芸能鑑賞」「異文化体験」などと幅広く、いつもの授業とは一味違った体験ができます!
 - プログラムの多くは学内で実施するため、授業と授業の間の「空きコマ」を有効に使えます!
 - 他学部の学生や留学生と共に学び、交流することができます!
- ※新型コロナウイルス感染状況によって延期または中止になる場合があります。

2022年度は 28 のプログラムにのべ約 700 名が参加しました!



プログラムを教職員と一緒に企画し、運営する課外教養プログラムプロジェクト (KYOPRO) の学生スタッフを募集しています。

キャンパスごとにそれぞれ活動していますが、定期的に合同ミーティングを行っています。学年を問わず、いつでも、誰でも、やりたいと思った時に加入できます。「自分でプログラムづくりをしてみたい」という方ももちろん、「ちょっと興味があるな」という方も各キャンパス学生生活課、または HP までお問い合わせください。



■課外教養プログラムのお申し込み・お問い合わせ

市ヶ谷学生生活課 (外濠校舎 1階) 03-3264-9475
 多摩学生生活課 (EGG DOME2階) 042-783-2152
 小金井学生生活課 (管理棟 2階) 042-387-6011

■最新情報

大学 HP (ピアネットのお知らせ) よりご確認ください



課外教養プログラムのお知らせ

社会で役立つITの知識を身につけませんか？

現在、課外教養プログラム「日本社会で成功するためのIT」の参加者を募集しています。

本プログラムでは、IT経営専門の講師が、日本と海外のITの基礎知識、IT活用について講演します。

ぜひ、この機会にITについて考えてみませんか？

★こんな人にオススメ！

- ・そもそもITってなんぞや？という人
- ・経営などでIT分野に興味のある人
- ・ITを用いた経営に興味のある人



- ◆日 時：9月26日(月) 13:40～15:20
- ◆場 所：多摩キャンパス EGG DOME 5階ホール
- ◆対 象：本学学部生
- ◆申 込：右のQRコードから申込み

〈問い合わせ先〉

多摩学生生活課 (EGG DOME 2階)
 【TEL】042-783-2152
 【E-Mail】tamasei@hosei.ac.jp



Google フォーム

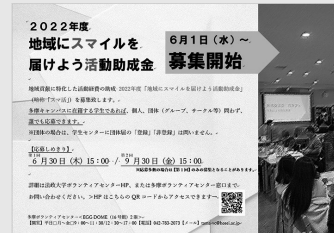
多摩ボランティアセンターからのお知らせ

「2022 地域にスマイルを届けよう活動助成金」申請受付中！

ただ今、地域貢献に特化した活動経費の助成「2022 地域にスマイルを届けよう活動助成金」(略称スマ活)の申請を受け付けております。

多摩キャンパスに在籍する学生であれば、個人、団体(グループ、サークル等)を問わず、誰でも申請できます。

学内での助成金をお探しの方は、どうぞご検討ください！



応募締め切りは、9月30日(金) 15時です。

〈問い合わせ先〉

多摩ボランティアセンター (EGG DOME 2階)
 【TEL】042-783-2073
 【E-Mail】tama-vc@hosei.ac.jp
 【開 室】平日 9:00～11:30
 12:30～17:00



詳細はこちらから

編集後期 (キャンパスライフ編集委員より)

多摩キャンパスは地球環境の博物館

2022年度に入って春学期は対面授業が中心になり、多くの学生が多摩キャンパスに集うことができるようになりました。ようやく、リアルな「キャンパスライフ」が日常化しつつあると言ってよいでしょう。とはいえ、授業や部活でキャンパスに居る時間を過ごして、あとはそそくさと帰るだけというのが、ほとんどの学生諸君の「キャンパスライフ」の実状だと思います。そんな皆さんに私からお勧めしたいのは、30分程度から時間をつくってキャンパス内の「里山」を散策することです。多摩キャンパスは東京ドーム10個分ほどの広大な緑地に囲まれた全国でも有数の「里山キャンパス」です。アラカシに代表される高木の常緑広葉樹群が根を下ろしている土壌は地下水を涵養し、二酸化炭素の削減にも貢献し、貴重な野生動物(ホンダヌキのような哺乳類からメジロやツグミのような野鳥まで)を育てています。春になれば在来種のカントウタンポポを見つけ、愛でることができます。4号調整池にはアカハライモリという絶滅危惧種も生息していますし、底泥にはオシオカラトンボなどのヤゴ(幼虫)も育っています。一方で、ブラックバスやブルーギルのような外来生物も確認されていて、多摩キャンパスはまさに生物多様性の変化を観察できる自然博物館なのです。皆さん、ぜひキャンパス内の里山を散策して地球環境に思いを馳せてください。

(参考資料：『法政大学多摩キャンパス 自然と生物』法政大学多摩環境委員会(2014))

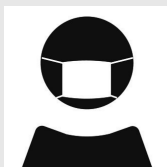
社会学部教授 池田寛二

● 2022年9月21日発行 第127号
 編集：法政大学多摩キャンパスライフ編集委員会
 発行：学校法人 法政大学
 東京都町田市相原町4342番地
 Tel：042-783-2152
 年3回発行

多摩学生生活課からのお知らせ

バスマナーにご協力ください

神奈中バス・京王バスは法政大学生だけでなく、一般の方々も乗車されます。以下のマナーを守り、気持ちよく乗車しましょう。



マスクの着用



大声を出さない



席をゆずる



リュックは前に



飲食禁止



マナーモードに

学生センター 多摩学生生活課

課外教養プログラムに参加しよう!

正課授業だけでは補いきれない法大生の多様なニーズに応えるため、学生センターでは様々な「課外教養プログラム」を実施しています。2021年度はオンラインでプログラムを実施し、31のプログラムに約700名が参加しました。テーマは「スキルアップ」「古典芸能」「スポーツ観戦」などと幅広く、いつもの授業とは一味違った体験ができます。ぜひ授業の空きコマなどを利用して参加してみませんか?



近目中! 実施プログラム

生態系を脅かすインフラ開発 ~私たちの暮らしの裏で何が起きているのか~

皆さんは、インフラ開発や生態系、環境問題と聞いて何を思い浮かべますか?
最近、リニア新幹線の建設を巡った議論が話題になったと思います。道路が建設された結果、車で行きたい場所に素早く行けるように、私たちの生活はインフラ開発によって便利になっています。一方で、「その開発の裏で生態系が脅かされている」という話は聞いたことがありますか? 例えば、「道路の建設の際、森を切り開くことから、森林伐採によって生態系の生息地が少なくなっている」と聞いたことがあるかもしれません。

実際のところ、どうなのでしょう?
「インフラ開発によって、生態系にはどんな影響が出ているのか」について、自然・環境に関わる政策や生物の多様性を専門にされている高田先生と一緒に考えてみましょう!

◆こんな人におすすめ◆

- ・生物や自然に関心がある方
- ・環境問題に関心がある方
- ・都市開発に関心がある方
- ・将来、インフラ開発に関係する仕事をしたいと考えている方
- ・人間と自然の共生について考えてみたい方



- ◆日時: 12月7日(水) 13:40~15:20
- ◆場所: 多摩キャンパス 総合棟 4F 多目的教室
- ◆定員: 30名
- ◆講師: 高田雅之氏 (法政大学人間環境学部教授)

- ◆申込み: 右のQRコードから!
- ※ログイン時に使用するメールアドレスはご自身の法政大学のメールアドレス (@stu.hosei.ac.jp) をご入力ください。

申込みフォーム



学生スタッフ募集!!!

大学の教職員と一緒に課外教養プログラムを企画・運営する「課外教養プログラムプロジェクト (KYOPRO) 学生スタッフ」を募集しています。学年を問わず、いつでも誰でも、やりたいと思った時に加入できます。
「自分でプログラムを作りたい!」と思った方はもちろん、「大学生活で何かに挑戦してみたい!」という方も是非お問合せください!

◆こんな人におすすめ◆

- ・プログラム作りを通してスキルアップしたい!
- ・色々な人と話したい!
- ・新しいことに挑戦してみたい!
- ・他キャンパスの学生と繋がりたい!

◆どんなスキルが身につくの?◆

- ・ビジネスマナースキル ex) メール、敬語等
 - ・プレゼンスキル ・チームワーク
 - ・デザインスキル ex) ポスター制作
- が身につきます!

■お問合せ■

- 各キャンパス学生生活課
- 多摩: EGG DOME 2階
042-783-2152
 - 市ヶ谷: 外濠校舎 1階
03-3264-9475
 - 小金井: 管理棟 2階
042-387-6011

多摩キャンパス生はこちらから!



今年度 多摩 KYOPRO 実施プログラム

今年度は、新入生向けのキャンパスツアーから体験型プログラム、講義型プログラムと幅広く企画しています!

多摩キャンパス学生スタッフ活動紹介

サークル活動とは別に、法政大学には大学のイベントや業務を支える様々な学生スタッフ団体が存在します。教職員との協働で大学公式のプログラムを運営します。「考え抜く力」「チームで働く力」など社会に出ても役立つ様々な能力を身に付けることができます。部活やサークルとの掛け持ちも可能です。学生スタッフの活動を通じて自身の成長を目指してみましょ



学生スタッフ一覧

課外教養プログラムプロジェクトスタッフ (KYOPRO)

正課授業だけでは満たしきれない学生の様々な好奇心に応えるため、「課外教養プログラム」を運営する学生スタッフです。「スキルアップ」「スポーツ観戦」など、いつもの授業とは一味違った体験で「学びのきっかけづくり」をサポートする様々なプログラムを企画・運営しています。

★こんなあなたにオススメ!

- ・プログラム作りでスキルアップしたい!
- ・市ヶ谷や小金井キャンパスの学生と繋がりたい!
- ・ビジネスマナースキルを身につけたい!
- ・イベントを一から作り上げたい!

直近の実施プログラム



<問合せ先>

学生センター多摩学生生活課
(EGG DOME 2階)
TEL: 042-783-2152
E-Mail: tamasei@hosei.ac.jp

Twitter



公式LINE

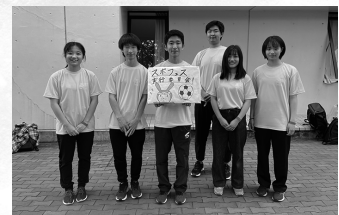


スポーツフェスティバル学生実行委員会

多摩キャンパスの新入生歓迎行事「スポーツフェスティバル」を運営する学生スタッフです。現在は4年生2名、3年生3名、2年生2名で活動しています。「イベントの企画・運営に興味がある!」という方はぜひスポフェス実行委員会に入ってみませんか?

活動は主に隔週で昼休みに行っており、所属している学生のうち半分以上は他サークルと掛け持ちをしているので、少しでも興味がある方はお問合せください!

活動の様子はTwitterをご覧ください。



<問合せ先>

学生センター多摩学生生活課
(EGG DOME 2階)
TEL: 042-783-2152
E-Mail: tamasei@hosei.ac.jp

Twitter



LINE
オープンチャット (新設)



多摩オープンキャンパスリーダーズ

私たちは、主にオープンキャンパスの企画・運営を行っている団体です。多摩オープンキャンパスでは、受験生との個別相談やキャンパスを回るウォーキングツアーはもちろん、広大な敷地を活かしたバスツアーや体育施設の紹介などの企画があり、学生主体となって創り上げます。オープンキャンパス当日以外も、オンラインコンテンツの作成や、高校生のキャンパス見学の案内などを行い、1年を通して活発に活動しています。高校生の力になりたい、大学生活でやりがいのあることをしたい、と考えている方は是非一緒にオープンキャンパスを創ってみませんか?



Twitter



Instagram



多摩Webオープンキャンパスホームページはこちら! →



多摩障がい学生支援室

◆学生サポートスタッフ

障がい学生支援室ではノートテイク講座をはじめ、各種講習会を開催しています。受講後に学生サポートスタッフとして登録し、障がいのある学生の授業支援を目的にサポート活動を行っています。

ノートテイクとは?

聴覚障がいのある学生が情報を得るための手段のひとつです。授業内の音情報を文字にして伝えます。学生サポートスタッフが、パソコンを用いてノートテイクを行います。



パソコンノートテイク練習の様子

◆学生サポートスタッフ募集

多摩障がい学生支援室では学生サポートスタッフを募集しています。興味がある方はご連絡ください。

- ・宛先アドレス: tmshien@hosei.ac.jp
- ・件名: 学生サポートスタッフ募集
- ・本文: ①学部、②学年、③学生証番号、④氏名、⑤連絡先 (大学付与のメールアドレス)

<問合せ先>

総合棟2階
多摩障がい学生支援室
電話: 042-783-4038

多摩キャンパス登録団体

法政大学では様々なサークルが活動しています。以下の団体は大学に登録された多摩キャンパスで活動する「登録団体」です。興味のある方は、各団体に直接お問い合わせください。



他キャンパスの登録団体情報等はこちら!

◆運動系

- ・ASA-MAC'S (アルティメット)
- ・STLS (ソフトテニス)
- ・サーフライフセービングクラブ
- ・水泳同好会マリンプレー
- ・スポーツチャンバラクラブ
- ・トライアスロンチーム Afro-Q

◆音楽系

- ・Jazz Study Club (ジャズ)
- ・ダンスミュージック研究会 (軽音)
- ・はもるぶ♪ (アカペラ)
- ・Free Music Society (軽音)
- ・Voice Of Winds (吹奏楽)
- ・よせがに (軽音)

◆文化系

- ・エッグマガジン編集部 (フリーペーパー制作)
- ・手話サークルちゅうたま
- ・多摩演劇研究会
- ・多摩茶道サークル
- ・多摩中留会 (留学生交流)
- ・たまぼら (ボランティア)
- ・FITus (留学生交流)
- ・Film Making Club (自主映画制作)
- ・弁論部
- ・漫画美術研究会 白い家

2022 年度課外教養プログラムプロジェクト活動報告書

発行者：法政大学学生センター

住所：東京都千代田区富士見 2-17-1

印刷者：株式会社エイチ・ユー 学内印刷室

発行日：2023 年 6 月 12 日